

社叢学研究第5号 目次

- 神社と社叢 ～日本の原風景を考える 林 進
- 太宰府天満宮クスノキの樹勢衰弱原因について
矢幡 久・下河内 美和・川口 定生・百島 則幸
- 社叢が都市の居住快適性に及ぼす影響について 長谷川 泰洋・岡村 穰
- 森は一体の生きものである ～すべての生き物の繋がり 神部 四郎次
- 平成18年度総会シンポジウム 「鎮守の森の伝統と課題」
基調講演・「森」を考える 山折 哲雄
- パネルディスカッション 続・鎮守の森は泣いている
パネリスト 矢幡 久（九州大学熱帯農学研究センター長）
飯沼 賢司（別府大学文学部教授）
上田 昌弘（鎮守の森の会主宰）
糸谷 正俊（㈱総合計画機構代表取締役）
コーディネーター 岡村 穰（名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授）
- 平成18年度総会研究発表の概要
- 会員活動報告・天若湖における社叢化計画について 橋本 完
- 鎮守の森の活動報告（社叢学会亀岡支部・雨池ホタルの会）
- 書評『歴史のなかの人権 -アジアの世紀をめざして-』 河内 将芳
- 書評『日本の庭園 造景の技とところ』 坂本 新太郎
- 書評『米山俊直の仕事 人、ひとにあう。-むらの未来と世界の未来』 佐々木 高明